

機械器具 51 医療用嚢管及び体液誘導管

管理医療機器 ネラトンカテーテル JMDN：10734000

＊ザ ヘルス ネラトンカテーテル

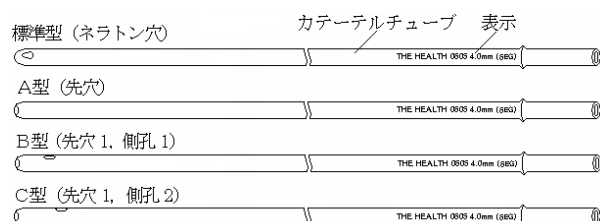
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 過去に「天然ゴム」によるアレルギー症状を経験している患者への使用は禁止。

＊【形状・構造及び原理等】

本品は単管の導尿用カテーテルであり、天然ゴムを使用している。



【使用目的、効能又は効果】

経尿道的に膀胱へ挿管し、貯留した尿を体外へ排出するカテーテルである。

＊＊【品目仕様等】

引張強度 外径3.3mm以上：1.0 kg
外径3.3mm未満：0.75 kg

＊【操作方法又は使用方法等】

- ・滅菌前に水洗をすること。アスピレーター等を用いて内部に勢いよく水道水を通すと、なお良い。
- ・完全に乾燥させる。
- ・本品は未滅菌品である。必ず高圧蒸気滅菌（121℃、15分間）または医療機関で使用されるエチレンオキシドガス滅菌装置により、EOG滅菌（450～1000mg/L濃度のエチレンオキシドガスを使用、滅菌2時間 70℃未満、加湿下、エアレーションは使用前まで24時間以上70℃未満）を行った上で使用すること。
- また、両方の滅菌方法とも、インジケーター等を用いて滅菌効果を確認しながら実施すること。
- ・1回限りの使用で使い捨て、再使用してはならない。
- 1. 滅菌手袋を装着した右手でネラトンカテーテルを持ち、キシロカインゼリー等の潤滑剤を滅菌ガーゼに載せて、カテーテル先端からシャフト部分に十分塗布する。
- 2. 男性患者の場合は、仰臥位をとらせ、陰茎を真上に立たせるように持ち上げて、そのまま保持しながらネラトンカテーテルの先端を外尿道口に挿入する。
- 3. 挿入は、尿道の長さ（男性：16～20cm、女性：約4cm）を目安に、ゆっくり進める。その際、かん子を使用してカテーテルを保持しても良い。
- 4. カテーテル先端が膀胱内に進入したら、採尿瓶や採尿バックを用いて尿を採尿する。

＊【使用上の注意】

- 使用注意
 - ・天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがある。

このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。

2. 重要な基本的注意

- ・取扱いについては教育された医療従事者が適切に行なうこと。

＊＊【患者の体質や解剖学的構造を考慮し、適切なサイズのカテーテルを選択すること。】

- ・必ず滅菌をした上で使用すること。
- ・孔を開けるなどの追加加工を施したり、導尿以外の目的に使用しないこと。
- ・万一製品にキズ、異物、劣化など発見した場合は使用しないこと。
- ・刃物等鋭利な器具に触れると切斷する恐れがあるので注意すること。
- ・使用後は2次感染以降の防止に留意し、安全な方法で処分すること。

3. 相互作用

＊＊【薬品によっては膨潤したり、浸透・着色・脱色・表示落ちしたりする場合があるので、事前に確認の上で使用すること。】

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- ・直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管すること。

2. 使用の期限

- ・包装の使用期限欄を参照のこと。

【包装】

12本／袋入・10袋／箱入 2.5mm (3EG) ～ 9.0mm (16EG)
6本／袋入・10袋／箱入 9.5mm (17EG)・10.0mm (18EG)

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- (1) 荒川創一、尿道カテーテルによる感染を起こさないための看護：INFECTION CONTROL, 5(3)42-45, 1996
- (2) 畑尾正彦 他 監修、導尿、ナースのためのチューブ管理マニュアル：学研、200-205, 1998
- (3) 都筑正和 監修、消毒剤の使い方 4 消毒の実践：医歯薬出版、殺菌・消毒マニュアル、66-97, 2000

＊(4) 松永佳世子、矢上晶子、ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン 2006 誕生編および皮膚科編：

日本ラテックスアレルギー研究会会誌 vol.10 No.1, 32-40, 2006

2. 文献請求先

＊＊株式会社 イズモヘルス 品質保証課

〒399-7104

長野県安曇野市明科七貴6057番地

TEL：0263-62-2392

FAX：0263-62-4548

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社 イズモヘルス

〒399-7104

長野県安曇野市明科七貴6057番地

TEL：0263-62-2392

製造業者：株式会社 イズモヘルス